

---

◇ 宮 嶋 怡 正 ◇

○議長（宮嶋 清伸） 9番、宮嶋怡正君、質問を許します。登壇願います。

9番、宮嶋怡正君。

○9番（宮嶋 怡正） 9番、宮嶋怡正です。

私は住宅の耐震化、及びリフォームなどに対する補助制度導入について質問をいたします。

3月11日に発生した東北東日本大震災で、未曾有の甚大な被害が発生いたしまして、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

自然の世界と共存、共栄のできる復旧、復興が少しでも早くなされますようお願いがあります。この地域では、先ほど来多くの議員各位が指摘されていますように、東海沖地震がいつどこで発生しても不思議でないと言われております。阪神淡路大震災では、犠牲になった方の約8割が、木造住宅が倒壊し、家屋の下敷きになり亡くなりました。

下條村では耐震性を考慮して、建築基準法が改正される前の昭和56年以前に着工の木造住宅を対象にして希望をとって無料にて耐震診断を今までに計169軒行った結果が169軒すべてが耐震のための改修工事が必要という結果が出されました。が、耐震改修工事が今までになされたのはたったの3軒だけです。残りの98%が耐震診断を受けて耐震のための改修工事が必要という判定結果が出たにもかかわらず、改修工事がされておらず、いつ発生してもおかしくない東海沖地震を想定する中で、村民の生命、財産を守るために災害に強く、安心安全で生活をしていける村づくりに向けて、先ほど金田議員、串原議員より質問ありましたように、耐震改修を促進するための村としての補助制度導入について村長のお考えをお聞きしたいと思います。

そして2つ目といたしまして、世界的経済不安が続く中、いまだ地域経済の回復が体感できない現状の中、生活者支援の観点から、また地域経済の活性化に向けての取り組みとして、裾野の広い経済波及効果の高いと言われております住宅のリフォーム、新築工事に対する一定額を助成する制度を作る必要があると思います。村長のお考えをお聞きしたいと思います。

以上であります。

○議長（宮嶋 清伸） 伊藤村長、答弁をお願いします。

○村長（伊藤 喜平） 宮嶋議員の質問に答弁申し上げます。

耐震対応でございますけれども、確かに無料で160～170戸やったと思います。ところが第一診断においておおよそいくらかかるかということととてもということととつかなかった方がおられる多くでございます。

実質的には、今言った数字より多いと思いますし、それはあきらめてまた別の方法でやった方もおられると思います。

それで今私が思うことは、どうか地元の業者、地元の業者を頼めというんですけれども、それはそのとおりでありますけれども、地元の皆さんも営業していただきたい。例えばお花見だとか酒飲むときに「おまえさんのうちはいくらかあれだ。もうそろそろやった方がいいんじゃないか」というアプローチをかけていただかないと困るわけございまして、やったうちのほとんどが飯田の業者でございます。それが来て営業に来てがっつとやっつとやっつとやっつと、だいたいそれがまた残念なことに見積もり、だいたいの今度は施工見積もりをするわけでございますけれども、実際やってみるとこれをやっておると柱シロアリが食っておったとか、こんなとこに雨漏りがあってこれ見過ごしちゃったでこの柱も駄目だとかいうような事例が出るわけございまして、これも弱ったもんだなということで、今度は今お話がありましたようにリフォームも兼ねてやればいいんじゃないかということでございまして、今度はできるだけ理想的なリフォームというのを9月か12月の議会までに提出するつもりでございます。それとセットでやれば、そこはある程度カバーリングできるわけございまして、60万円プラスリフォームの上限いくらで半額補助と、そういうのを組み合わせてやる方がいいんじゃないかなと思います。

それで地元の業者さんがユーザーを作ってきて、そしてそのユーザーの見積もりというのは設計士これただで行政の方使えるわけでございますので使う。その答えが出たときに、そのお施主と業者がしっかりお話しして、もしかしたらこれかかるかもしれんで、これらはまた俺が何とか柱で鉄骨使わにゃいかんやつを柱でいいとか、柱のものを鉄骨の方がいいぞとかいうことで、そこはいくらか親身になって検討してやるでやってみまいかということはずいぶんやっていたきたいと思っております。私どももせつかくそういうふうにして作ってもみんなその本人の生命、財産のことでございますけれども、せつかく持って行って今度は業者の何か会合があると「仕事がないでなんとかしてくれや」とこれではちょっと

私ども悲しいわけでございますので、そういうふうなまずユーザーとの接点を作るということ。そしてまたそこにおいて、どうしてもこんなことになっちゃったということになれば、その業者とユーザーが対等の目線で話ができるわけでございますから、大手に頼んでしまうとどうもこうでこうだなんてタイプ打ったようなやつ持ってこられちゃうとこれが定価のような気がしてしまうわけでございますので、そういうこともやるということで、結論としてはリフォームも含めて受益者の皆さんが安心安全の受益ができるということが一番大事なことでございます。

以上で答弁を終わります。

○議長（宮嶋 清伸） 9番、宮嶋怡正君、再質問ありますか。

9番、宮嶋怡正君。

○9番（宮嶋 怡正） 宮嶋であります。

ただいま、村長答弁より非常にありがたい答弁いただきました。安心安全の生活をはぐくんでいくために、リフォームと耐震工事セットで理想的な形で補助事業を考えていきたいというお答えをいただきました。ぜひともこれと合わせて確かに村長答弁ありました。地元の業者もっと積極的に営業をアピールして、お施主さんといいいコミュニケーションを作る中で仕事の確保に向けて取り組むという、確かにそのとおりだと思います。そのことと合わせまして、やっぱり地域で地元の業者がより仕事があることによって雇用の確保もできて地域経済もさらに良くなるということでもありますので、何とかその地元業者が請け負った工事については、さらに補助率を上げるようなことも合わせて考えていただければ非常にありがたいことだと思います。

以上であります。